

第37回鶴ヶ島市文化祭秀作集

短歌

市長賞

うすれゆく記憶の断片つなぎつつ三日溜めたる日記をしるす

下新田 南雲ミサオ

教育長賞

初物のトウモロコシを煮る香り夕べの厨に満つるやすらぎ

太田ケ谷 岸田 武久

文化団体連合会会長賞

高空に囀りひびかせ揚雲雀落つると見せて草叢に消ゆ

脚折 末永 アエ

佳作

吾の立つプラットホームは無視されて突風残し快速行きぬ
取り出して広げ畳むをくり返す誕生祝いのブランドのセーター
征き逝きし父が終焉の地と言へるブカといふ島知る人もなく
地図広げ穴場探しの行き先を決める前から吾は旅人
石段を見下ろす蕎麦屋の三階で薄羽黄トンの群れを指さす
四歳の孫は花さく菜畑の紋白蝶を追いかけ走る
草むしり薄い緑の葉のごとく紛れしカマキリ我が手の中に

鶴ヶ丘 新井 紀子
太田ケ谷 岸田 保子
藤金 門田 延子
富士見 中村 孝
松ヶ丘 杉山 行汪
下新田 南雲 志郎
藤金 安田 和子

俳句

兼題「天の川」「菊」

菊の香を小さく散らし羽音くる

脚折 福田 秀雄

白菊の気品を添えし蔵の町

町屋 福島 一男

朝市や旅の終わりの小菊買う

藤金 佐々木 幸子

風紋の砂丘銀河の尾が触るる

上新田 岩淵 滋

来し方を語り尽くせぬ菊の宿

上野 常子

巡りくる仕合せ見つけ天の川

富士見 星野 順一

菊咲くや亡母の手織の婚衣裳

脚折 安斉 和子

謡一曲独り吟じて菊の夜

五味ケ谷 木曾 賢隆

更け行くや礼文に流る天の川

上広谷 石黒 弘子

奥飛騨の展望風呂や銀河澄む

藤金 小沢 操

室堂の窓あけ放つ天の川

脚折町 高篠 勇夫

平凡な日々を良しとす小菊愛で

南町 木村 眞樹子

亡き友に捧ぐ一輪菊の花

脚折町 本田 ハナ

人里に復興兆す野菊かな

藤金 山田 賀寿子

第42回 鶴美展受賞者



県知事賞

高桑 昌作(絵画)

市長賞

市議会議員賞

教育長賞

文化団体連合会会長賞

美術協会会長賞

田幡美佐男(工芸)
須田 義男(写真)
栗田 光岳(書)
加藤 智美(絵画)
米山 大研(書)
栗野 和子(絵画)
小松 宏江(工芸)
氣賀澤恒和(写真)

奨励賞

小林 薫(絵画)
本間 圭(絵画)
鹿山 孝(工芸)
小島 伸子(工芸)
勝田 仁恵(写真)
木村 達弥(写真)
小川 かつ子(書)
田中美知子(書)

問合先

生涯学習スポーツ課社会教育担当